

表象文化論学会

第11回大会

2016
7月9日(土) → 10日(日)

7月9日 立命館大学衣笠キャンパス 以学館1号ホール

無料(会員・非会員とも)

シンポジウム

13:00
|
16:00

いま「自己」はどこにあるのか——精神分析、自己啓発、アルゴリズム

松本卓也(京都大学) 牧野智和(大妻女子大学) 細馬宏通(滋賀県立大学) (コメンテーター) 小泉義之(立命館大学) (司会) 千葉雅也(立命館大学)

企画パネル

16:30
|
18:30

デヴィッド・ボウイの宇宙を探索する

高村峰生(神戸女学院大学) 當間麗(青山学院大学) 田中純(東京大学) (コメンテーター) 佐藤良明(放送大学) (司会) 北村紗衣(武蔵大学)

19:00

学会賞授賞式／懇親会(会員のみ)

諒友館食堂

7月10日 研究発表 立命館大学衣笠キャンパス 以学館 23, 24, 25号室

事前予約不要
当日会費＝1,000円(会員は無料)

午前
10:00
|
12:00

パネル

1

明治大正期のインターメディアリティ ——写真・幻燈・映画の文化的複合性をめぐって

明治期における写真術の日用品への応用 造藤みゆき(早稲田大学・東京都写真美術館)
明治初年のスクリーン・プラクティス——映画前史における上映の諸問題 大久保遼(愛知大学)
連環劇の興行形態と日本映画のスタイルとの関係性 上田学(東京工科大学)
(コメンテーター) 長谷正人(早稲田大学) (司会) 萩原真知子(早稲田大学)

23号室

パネル

2

エロスの哲学／哲学のエロス

バタイユにおける思考のエロティズム 横田祐美子(スラズブル大学)
メルロ＝ポンティの産みの現象学 黒澤由里
『リビドー経済』における「隠蔽」概念について 渡邊雄介(早稲田大学)
(コメンテーター) 松本卓也(京都大学) (司会) 加岡尚志(立命館大学)

24号室

13:00*

総会(会員のみ) ※13:45 終

以学館3号室

午後1

パネル

3

筋肉の表象／表象の筋肉

筋肉と自己——スタローン論序説 三浦哲哉(青山学院大学)
シュワルツェネッガーとアトミック・マッスル——90年代アメリカ映画における筋肉表象の変容について 入江哲朗(東京大学)
筋肉的無意識——身体における力の表象と爆発としての筋肉 島山宗明(聖学院大学)
(コメンテーター) 千葉雅也(立命館大学) (司会) 三浦哲哉

23号室

14:00
|
16:00

パネル

4

映像と言語 ——不可視のインフラストラクチャ

キャラクターのアニメ映像的立ち上がりにおける画面と音の関係について 長田祥一(城西大学附属城西中学校高等学校)
河明かりを見るということ、または映像におけるノイズと実物の関係について 浦野歩(一橋大学)
プログラミング言語の中の自然言語——映像と意味の相互関係から生じる二重状況 渡邊弘喜(一橋大学)
(コメンテーター) (司会) 武村知子(一橋大学)

24号室

パネル

5

神話と共同体 ——ジャン＝リュック・ナンシーの近著 『本来的に語る——神話についての対談』を中心に

神話と政治——ジャン＝リュック・ナンシー「本来的に語る」と「照射する」共同体の可能性 市川慶(慶應義塾大学)
「新たな神話」新論——あるいは「途絶」のやり直し 柿並良佑(山形大学)
神話表現論の系譜——ニーチェ、バタイユ、ナンシー 酒井健(法政大学)
(コメンテーター) (司会) 渡名喜南哲(慶應義塾大学)

25号室

午後2

パネル

6

その血はだれのものか？ ——血液の表象をめぐる顕現と隠蔽

「世界の都」を開く血——ゴッファロー＝兄弟会の受難制 杉山博昭(早稲田大学)
雲の身体に通う血——ケイティ・キングの脈拍測定 浜野志保(千葉工業大学)
戦場から持ち帰られる血——日露戦争における血の幻影 向後恵里子(明星大学)
(コメンテーター) 松本一隆(早稲田大学) (司会) 向後恵里子

23号室

16:30
|
18:30*

パネル

7

ヴァーチャル空間と現実空間の関係の再検討 ——デジタルゲームにおけるアフォーダンス、インタフェース、エコノミー

ヴァーチャル空間にアフォーダンスは存在するか 伊藤京平(立命館大学)
デジタルゲームにおける視点の多層性——「鏡」としてのインタフェース 向江駿佑(立命館大学)
越境する複数のエコノミー——ゲームアイテムの象徴的価値をめぐって シン・ジュヒョン(立命館大学)
(コメンテーター) 吉田寛(立命館大学) (司会) 増田展大(立命館大学)

24号室

パネル

8

テクネーとエピステーメ

機械技術の文化史——ルイス・マンフォードの反時代的アクチュアリチについて セバスチャン・ブロイ(東京大学)
1942年と三木清の技術論 榊沼龍久(横浜国立大学)
歴史は螺旋状に前に進んでいる——ヴァルター・ベンヤミンにおける一回性と反復性の抗争、およびその終焉 高田順(京都大学)
アンビエンテとコンテクスト——建築家エルネスト・ロジャースの「環境」概念について 緒江秀樹(関西大学)
(コメンテーター) (司会) 大橋完太郎(神戸大学)

25号室

※19:00 終

★プログラムは予告なく変更される場合があります。詳細および最新情報は学会ホームページ (<http://www.repre.org>) をご覧ください。

問い合わせ先：表象文化論学会事務局 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科 表象文化論研究室内 FAX 03-5454-4336 E-mail repre@repre.org URL <http://www.repre.org>